



西野まさひと

活動報告 号 外

ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページもみてね!】<http://www.nishino1.com/>



政党・会派の政治姿勢を見極めよう!

■西野まさひと友の会では、注目の政治課題について特集し速報いたします。

今、国政で注目を集めている「外国人参政権」・「夫婦別姓」・「議員定数削減」の問題は、日野市議会でも討議されています。昨年9月議会では議員定数を26から24議席へと削減することが出来ました。

外国人参政権の問題に関しては昨年12月議会に「永住外国人への地方参政権付与に反対する意見書」を提案しましたが、かねてから推進してきた公明党をはじめ、民主党・無党派議員の反対で残念ながら否決されました。夫婦別姓の問題では、「選択的夫婦別姓導入をしないことを求める意見書」を提出しましたが自民クラブ以外の全会派の反対に会い否決されてしまいました。

議員定数削減

賛成

賛成
自民クラブ
公明党
市民クラブ

反対

共産党
無党派

選択的夫婦別姓

反対

賛成
公明党・共産党
市民クラブ
無党派4名

反対

自民クラブ

外国人参政権

反対

賛成
公明党・共産党
市民クラブ2名
無党派4名

反対

自民クラブ
市民クラブ2名



国政でも注目の問題! 市議会各会派の姿勢は?

外国人参政権は国のあり方を左右する重要な問題!

永住外国人に参政権を与えようとする問題は、国のあり方を左右する非常に重要な問題です。この問題はこれまで公明党が積極的に推進してきましたが、ここに至りては民主党の小沢幹事長の発言により注目を集めています。なぜなら、小沢氏が党議拘束をかけて推し進めれば、共産・社民や公明党と併せて十分に法案を可決することが可能だからです。

現在日本に永住権を持つ外国人の方々は約91万人、その内東京都に在住の方は約13万人おられます。これらの方々はすでに国籍を持つ母国の参政権を有しており「外国人参政権」はそこに、二重の参政権を与えようとするものです。

現在、日本にいる永住外国人の方々も様々な公共サービスはすでに受けておられ、国民健康保険や国民年金制度も適応されています。参政権は基本的人権とは異なります。参政権は主権者である国民が国家に対して持ち得る権利であり義務です。安易に二重の参政権を与えることは外交・防衛面等で日本政府とは異なる主張を他国の圧力により浸透しようとすることも充分可能性があります。

各党・各会派は説明責任を果たし市民に信を問うべきです!

日本に永住権を持つ外国人の方々に参政権をあたえるには、日本国籍を取得して頂くのがやはり本来の姿なのではないでしょうか。もしこの問題を公明党や民主党・共産党が、支持団体を得るためや党利党略によって持ち出すならば問題です。すでに日野市でもこの議論は始まっています。各党・各会派は説明責任を果たし、市民の前でハッキリと論拠を述べ、信を問うべきです。

家族のきずな・地域のきずなを守ろう!

日本の国柄をもう一度見直そう

戦後日本は経済復興を求めて、急速に欧米化して行きました。家族構成は核家族化し、都市化が加速して地方は過疎が進んでいます。農業中心の産業構造は姿を変え、かつての村社会は失われようとしています。そして、近年行き過ぎた個人主義によって家族のきずなが希薄になり、地域のきずなも失われようとしています。豊かになった日本が振り返ると、犯罪は急増し自殺者は12年連続して3万人を越えています。

では、豊かになった戦後復興の基礎は本当に欧米のライフスタイルにあったのでしょうか。むしろ、日本人が本来持つ家族・地域のつながりに支えられたことが背景にあるのではないのでしょうか。アメリカ人は成人すると親とは別居し、結婚後、親と同居することはまずありません。老後は養老院に入るのが常です。日本をはじめとするアジア圏では、三世代がともに暮らし、年配者を大切に、家庭や地域で伝統を継承してゆきます。

日本が成熟期を迎えこれから国が目指すべき姿を見つめ直す時が来ていると思います。その指針の中に、日本の良き伝統を残すことも必要だと考えます。

夫婦別姓は日本のアイデンティティ！ 国柄を決める重要な問題



では、昨今話題となっている夫婦別姓の問題も、安易に個人主義的な観点から推し進めるべきではないと思います。日本としてのアイデンティティを重視するならば、家族が同じ姓を名のる今のスタイルを守るべきです。残念ながら昨年12月の議会では、「選択的夫婦別姓導入をしないことを求める意見書」を提出しましたが自民クラブ以外の全ての議員の反対で否決されてしまいました。しかし、この問題は日本の国柄を決める重要な問題ですので、これからの将来像をしっかりと討議し、議論をすべきです。

西野まさひとプロフィール

- 生年月日 昭和35年3月1日 日野市生まれ
- 学 歴 日野市立日野第四小学校卒業
日野市立日野第一中学校卒業
日本大学附属明誠高等学校卒業
明星大学人文学部経済学科卒業
- 家族構成 母、妻、一男、一女
- 趣 味 園芸(菊作り)
- 地域活動
 - 青年会議所
1998年度 (社)第26代日野青年会議所理事長
2000年度 (社)日野青年会議所
東京ブロック協議会監事
(社)日野青年会議所 顧問
 - 消防団 日野市消防団第一分団第3部所属
 - 日野市商工会 理事(元建設業副会長)
 - (社)日野法人会 元青年部会長
 - 日野市観光協会 元理事
 - 日野市災害対策協力会 前会長
 - 東睦(お祭り) 前会長・現相談役
 - 日野市菊友会(菊作り) 副会長
- 議会活動 日野市議会議員
自民クラブ所属
企画総務委員会委員
- 政 党 自由民主党日野総支部総務会長

Profile 略歴

まじめにコミットし、日々、全力投球!

